

5月14日・15日 産業経済委員会 行政視察

馬場ひでゆきの
県議

佐渡紀行

馬場ひでゆきの活動日誌

No.62

5月14日、15日、県議会産業経済委員会の行政視察で佐渡を訪問しました。とても刺激的な視察でした。今回は私の「佐渡紀行」をお読みください。

佐渡は遠くない

14日朝、直江津港でカーフェリー「こがね丸」に乗船し、佐渡の小木港に向かいました。佐渡というと、船に乗るだけで「遠いなあ」という印象がありました。乗船手続きもチケット

ト購入だけで簡単。直江津→小木航路の片道運賃は二等席が3,180円。特等席、一等席もあります。この日は客も少なく、二等席で十分です。横になつてくつろぐことができました。

小木港までの航行時間は約2時間40分。デッキに出て景色を眺めたり（この日は晴れていて妙高山が見えました）、本を読んだりしたので、時間の長さを感ぜませんでした。佐渡は、そんなに遠くないですね。

宿根木を歩く

私たちは、14日午後、宿根木（しゆくねぎ）を訪ねました。宿根木は佐渡の南西部、小木半島に位置する集落（小木港から車で10分）で、江戸時代から明治時代にかけて北前船の寄港地として栄えました。

約1haの土地に220棟の建造物が密集しています。一つ一つの家屋は狭く、その外観も質素ですが、内部は豪華な造りになっています。「JR大人の休日倶楽部」のCMで吉永小百合が宿根木を散策する姿が全国に流れ、宿根木は全国区になりました。宿根木は、昭和40年代半ばか

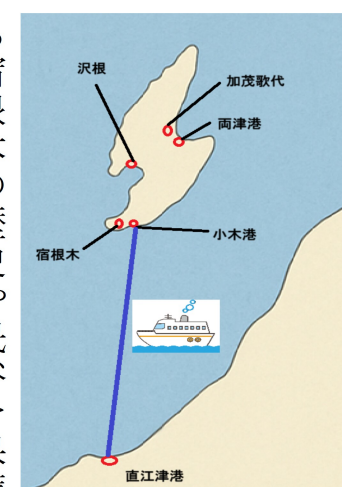
ら宿根木の歴史や民俗を保護する動きが始まります。昭和55年度の文化庁補助による伝統的建造物群保存対策調査事業を経て、平成元年の集落総会で保存の方角が決定され、平成3年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

平成3年から令和元年までの29年間で105棟の保存修理事業が実施され、歴史的な街並みが出来上がっています。

それにしても、歴史的町並みを維持するのは大変としました。それを北啓県議（佐渡市選出）に聞いたところ、観光客一人につき100円の街並み保全協力費を徴収し、それを財源にして、街並みの維持保全をしたり、地区の方々が観光客を案内しているとのことでした。目には見えないところで、地域住民が歴史と文化を支えているということがわかりました。



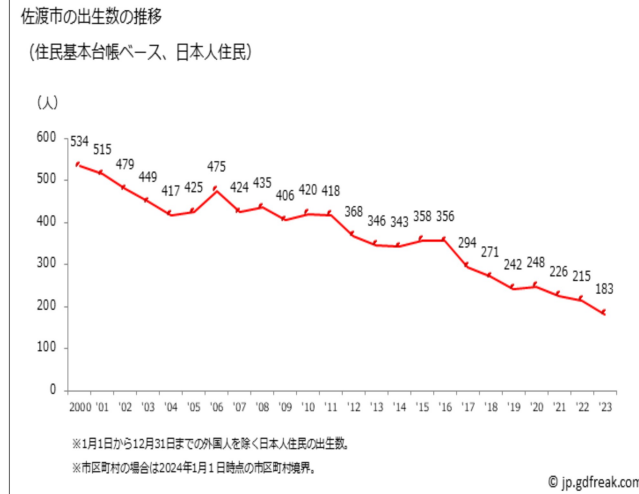
木造家屋が軒を連ね、路地の脇には川が流れてました



直江津・小木航路で佐渡へ。

人口減少が止まらない

14日午後は、島内の若手経営者などで構成される創業・起業支援の団体組織「NEXT佐渡」代表の榎崇斗さんから企業支援の取組について話を聞きました。左は、佐渡の人口減少の推移です。令和5年度（2023年）は183人、23年前と比較して3分の1に激減しています。



官民連携で企業誘致

榎さんは、お金の島内への流入額が年間249億円、島外への流出額が942億円（平成30年度）と、島内の貨幣総量が減少し、経済が回らないことに着目しました。

そこで、外からお金を運んでくる日本全体や世界をターゲットにする魅力的な企業を呼び込



佐渡の未来を熱く語る榎さん（左前）

むことを考えて実践しました。世界的な起業家のグループに仲間入りして佐渡の良さをアピールします。佐渡市とも提携して、佐渡への進出を検討する企業に対して、事業計画の策定支援や地元関係者との橋渡しを行いました。佐渡市も雇用機会拡充事業の補助金を準備して企業誘致をアシストしました。

この結果、直近10年間で佐渡に誘致した企業は59社、雇用創出数は485人に達しました。佐渡への移住者は令和2年が504人、令和4年が600人と増加傾向で推移し、そのうちの60%は年齢40歳未満の若年世代が占めています。

この官民連携の取組で、佐渡は「起業の島」として注目されつつあります。

私の感想ですが、人口減少という大変で重い課題に、客観的な資料に基づいて解決の戦略を練り、果敢にチャレンジする姿勢は素晴らしいと思いました。

コーシ Break



佐渡「ガシマシネマ」

15日、視察は終了したが、船の出発まで時間があったので、個人で相川京町通り沿い(写真上)のミニシアター「ガシマシネマ」を訪問した(写真下)。館主の堀田弥生さんは、この映画館を2017年にオープンさせた。館内は20席、カフェもある。玄関に入ると、カレーの美味しい匂いがした。

高田世界館の関係者ですと自己紹介して10分くらい堀田さんと話をした。至福の時間、お役に立ちたい、また行きたい。



また、行政と徹底的に議論しながら課題を共有して役割分担（企業誘致は民間、環境整備は行政がするというスタイル）を明確にして連携して取り組むという姿勢は大いに学ばれました。

4月12日～5月23日

- 4月16日 県民投票条例案審議のための臨時会開催
- 17日 同臨時会の特別委員会、一般質問で登壇
- 18日 同臨時会の本会議、賛成討論のため登壇
- 22日 直江津港湾協会総会（ホテルハイマート）
- 27日 大町二丁目町内会
- 5月1日 メーデー集会参加（上越市雁木通りプラザ）
- 7日 社交飲食業生活衛生同業組合総会参加（デュオセレッソ）
- 11日 上越9条の会20周年記念「戦後80年 歌と講演のつどい」（リージョンプラザ）
- 13日 県議会・厚生環境委員会視察同行（NPO法人ギフテッド）
- 14日～15日 県議会・産業経済委員会佐渡視察（本号記事掲載）
- 16日 吉川高等特別支援学校後援会役員会
- 17日 上越市合併20周年記念式典参加（オーレンプラザ）
- 18日 県政報告会（市民プラザ）
- 19日 教育現場の現状について教員と懇談
- 23日 柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決める会・報告集会（新潟県生涯学習センター）

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイヤパレス高田武番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp